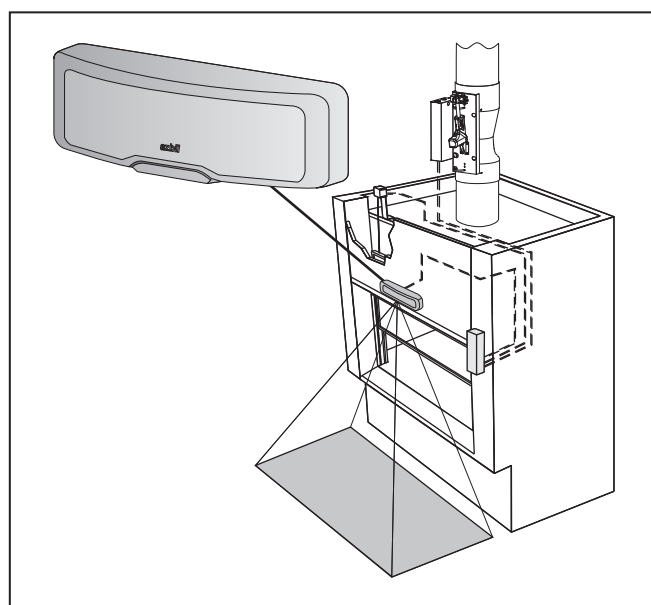


風量制御用コントローラ付 ベンチュリーバルブInfilex™ VN専用 人検知センサ 形ZPS310

■ 概 要

人検知センサは、ヒュームフード前面にいる人の在/不在状態を検知します。

- 人がいる場合
人検知センサは、風量制御用コントローラ付ベンチュリーバルブInfilex™ VNへ通常状態(通常風量<例：面風速0.5m/s>が必要)という信号を送ります。
- 人がいない場合
人検知センサは、風量制御用コントローラ付ベンチュリーバルブInfilex™ VNへ待機状態(少ない風量<例：面風速0.3m/s>で良い)という信号を送り、省エネを図ります。



■ 特 長

- VAV方式と二位置風量方式のセットバック制御にて使用します。
- ヒュームフード使用状況を通常状態(通常風量)と待機状態(少ない風量)に分け、その信号を風量制御用コントローラ付ベンチュリーバルブ(Infilex™ VN)へ送ります。
- 人検知センサと風量制御バルブを使った時の風量変化への反応時間は、1秒以内です。
- システムのフェールセーフとして、人検知センサの供給電源が断たれると、自動的に通常風量となります。
- オプティカルデバイスにより、人の動きを検知(人であるか、物体であるかの判別)します。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、特殊風量制御での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。放射線管理区域で本製品を使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

研究所・バイオハザード・ケミカルハザード・クリーンルーム・動物舎・感染症病院など、特別に信頼性、制御精度が要求される用途に使用する製品です。風量制御システム全体としての検討が必要になりますので、システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、必ず弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

⚠ 注意

❗ 本製品は、仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)の範囲内で使用してください。
火災や故障の原因となるおそれがあります。

❗ 取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。

❗ 配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。
施工を誤ると、火災のおそれがあります。

❗ 本製品の給電元に必ず電源遮断ブレーカを設けてください。
本製品は電源スイッチがないため、本製品側では電源を切れません。

🚫 本製品を分解しないでください。
故障の原因になります。

■ 形 番

基本形番	内 容
ZPS310	人検知センサ センサ数1台、幅が1.8m以内のヒュームフード用*

* ヒュームフードの幅が1.8m以上ある場合は、人検知センサを追加してください。

* 必要センサ数については、弊社担当者へお問い合わせください。

■ 仕様

項目	仕様		
電源電圧	AC24V (±15%)、50/60Hz		
消費電力	7VA (1台当たり)		
使用環境条件	周囲温度	0~50℃	
	周囲湿度	10~90%RH (結露なきこと)	
	周囲照度	538~1,614Lx	
取付高さおよび 必要センサ数 (ヒュームフードの幅による)	ヒュームフードの幅	取付高さ(床面より)	必要センサ数(形番による)
	0.6m~1.8m	1.8m~3.7m	1台(形番ZPS310)
	1.8m~2.4m	1.8m~3.7m	2台(形番ZPS310×2台)
	2.4m以上	弊社担当者へお問い合わせください	
* 両面タイプのヒュームフードの場合、人検知センサを各面に設置してください。			
出力信号	通常状態	DC0V	
	待機状態	DC10V	
検知範囲	床面での検知範囲はヒュームフードの前面から約0.6m、幅約1.8mまで拡大可能(図1参照)。		
保護条件	カバー	防じん(NEMA 1、IP31)	
主要部材質	筐体	ポリカーボネート、白色	
付属品	取付ねじ	2本	
	ケーブルマウント	3個	

■ 配線仕様

項目	仕様
AC24V電源	CVV 1.25mm ² -2心
信号線	CVV 1.25mm ² -2心 KPEV0.9mm ² / 1.25mm ² -1P

■ 検知範囲

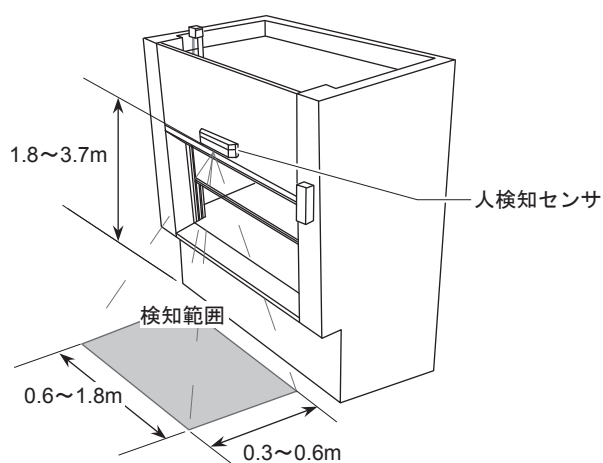


図1 検知エリア

■ 外形寸法図

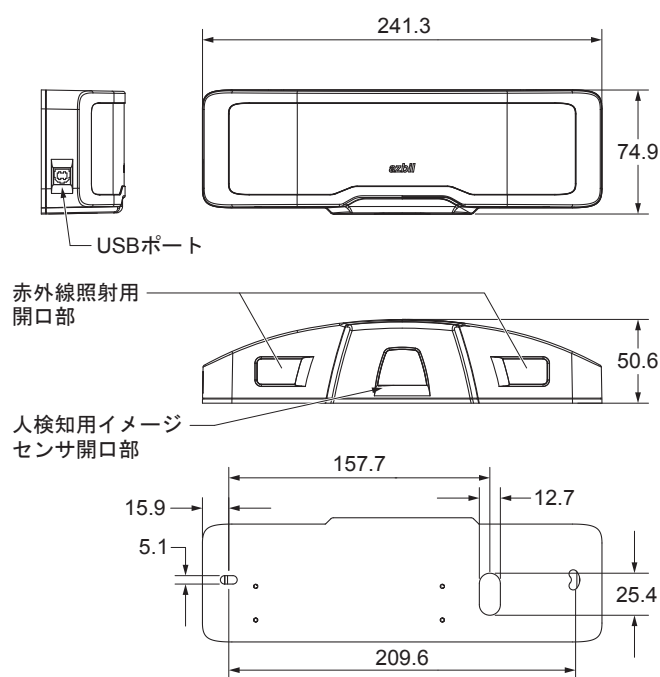


図2 外形寸法 [mm]

■ アプリケーション

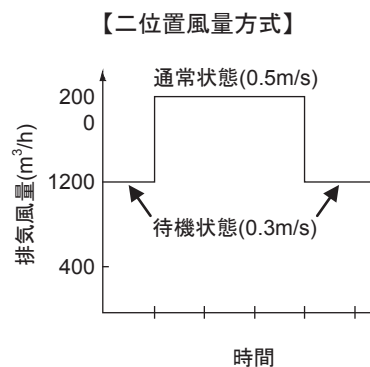
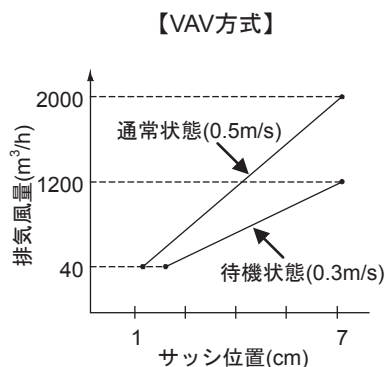
● 面風速制御

検知範囲内に人がいる時は、通常状態とします。

検知範囲内に人がいない時は、待機状態とし、面風速を下げます。

一般的な設定値は、次のとおりです。

- 通常状態時：0.5m/s
- 待機状態時：0.3m/s



上の図は、VAV方式にて人検知センサを使用した場合の風量が減少する様子を表しています。

ヒュームフードの前に人がいない場合は、サッシ開度の位置に応じて、風量が減少します。

(上図は、最小風量時にセットバック運転を行わない場合を示しています。)

上の図は、二位置風量方式にて人検知センサを使用した場合の風量が減少する様子を表しています。

ヒュームフードの前に人がいない場合は、サッシ位置にかかわらず、安全な待機状態にまで風量を下げます。

ヒュームフードには、バイパス部が設置されている必要があります。

図3 セットバック制御例

■ 廃棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。

* Inflex™はアズビル株式会社の登録商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>